



## お子さんの発達を支援されている皆様へ

災害による影響を受けられている皆様、ならびに感染症による影響を受けられている皆様には心よりお見舞い申し上げます。

新年が明け、新しい一年が始まりました。昨年も多くの皆様にご支援いただき誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年の干支は乙巳（きのとみ）…これまでにない新しいものを生み出していくことを示しているそうです。また、「将来・未来がある」という意味もあるそうです。どのような一年になるのか楽しみにしながら今年も取り組んでいきたいと思っております。

### ※未来に向かって※

子ども療育相談センターは来年の5月で開設から50年を迎えます。様々な社会の変化とともに歩んできましたが、50周年に向けて新しい取り組みを始めていきたいと考えております。

一つはお子さんへのアプローチ方法の新たな試みです。

開設当初から取り組んできた「明確な刺激統制下で行う課題学習によるアプローチ」が有効な認知特徴や行動特徴の顕著なお子さんに加えて、「一貫した対応によるアプローチ」が有効であるお子さんが見られるようになってきました。

幼児期は初めて経験することも多く、また状況の変化が大きい時期です。そのため、社会性やコミュニケーションの発達に支援を必要とするお子さんの場合、混乱することや不快になることが多く見られます。このような特徴を示すお子さんにとって、「不変のもの」はとても支えになります。例えば「電車やからくり時計など一定のペースで動く物」「自動販売機や券売機・家電・ゲームなど一定の手順で動くもの」「どんな状況でも変わらずに同じ判断や対応を明確に行う人」等です。

認知特徴は一人ひとり異なるため、それぞれのお子さんに合わせた環境を用意した上で、「一貫した対応によるアプローチ」を行い、お子さんの発達を促進する取り組みに挑戦していきたいと考えています。

もう一つは、これまでの取り組みを通して蓄積してきた知見をまとめていくことです。

「自閉症課題百選」を発行してから5月で16年が経過します。この16年の間にも多くのお子さんが来所され、様々な試行錯誤がありました。これらの取り組みについて、新たにまとめていきたいと考えています。

特に、中重度の知的障害を併せ持つお子さんについては、認知特徴と行動特徴に特化した対応アイデアとスモールステップを掛け合わせた対応が必要です。

「社会的な刺激よりも経験した自分の過去の行動を参照し繰り返す」特徴があるため、出来るだけ誤学習が生じないように対応することが必須となります。また、「支援を得られやすい行動」「社会参加を可能とする行動」を学習する機会を増やしていかなければいけません。たとえ個別の対応であっても、対応方法がお子さんの特徴に合わない場合には、他害・自傷・破壊など、周りの人にとってもご本人にとっても困難な行動を多く経験させることになるため、一人ひとりに合う対応を早期に検討し実践していく必要があります。

また、2009年に発行した「自閉症課題百選」は、主に幼児期のお子さんを対象とした対応アイデアについてご紹介していましたが、お子さん達の発達の経過は多岐に渡り、知的能力の水準に関わらず、人生を通して一人ひとりの特徴に応じた支援が必要であることも分かってきました。

将来、お子さん達が社会と接点を持ち、手応えを感じながら自分の人生を歩いていくための一助となれるよう、これらについてもまとめていきたいと考えています。

今年度も、発達に支援を必要とするお子さんとご家族、そして、日々お子さんの発達を支援されている方々に少しでも貢献できますよう、職員一同研鑽に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



# 子ども療育相談センター説明会のご案内(オンライン)



## ～将来の選択肢を一緒に増やしていきましょう～

社会性やコミュニケーションの発達に支援が必要なお子さんにとって、周りの人と約束を共有しながら直接経験を増やしていくことはとても大事なことです。代理経験(他者の様子を観察して自分にもできるという感覚を持つこと)に困難さがあるお子さんが選択肢を増やしていくには、直接経験する必要があるからです。また、「いつ、何を、どのように、どれくらい」を共有できることは、これから先の人生で「出会いに恵まれる」ことに繋がっていきます。そのためには、誘われる機会、教えてもらう機会、手伝ってもらう機会など様々な機会に上手く応じられるような行動を身につける必要があります。

そして、この直接経験を通して「お子さんが影響を受けて行動が変化したかどうか」も大事なポイントとなります。経験する機会がたくさんあっても、そこから影響を受けにくいお子さんの場合には、社会的な刺激に自分から注意を向け、自分で考え、気をつけて行動し、身につけていくことを具体的に教えていく必要があります。

お子さんは、直接経験する機会はどれくらいありますか?機会を逸してはいませんか?  
そして、その経験から影響を受けてお子さんの行動は変わってきていますか?

当センターでの発達相談では「知的能力」「社会生活能力」「認知の特徴や行動の特徴」など、お子さんの発達の状態を確認していきます。その上で、特別な対応の必要性を見極め、将来の可能性を見つけていきたいと思っています。また、必要に応じて、お子さんの可能性が広がる環境を検討し、お子さんの特性に合わせて具体的な関わり方を見つけていく療育・相談を行っています。このような取り組みが「お子さんの将来の選択肢」を増やしていく一助となりましたら幸いです。ご興味ありましたら、下記までぜひお問合せください。

日時:原則 毎週土曜日 午後12:30～(30分程度)

開催方法:オンライン(ZOOM)

対象:原則 小学校入学前のお子さんの保護者の方(小学生の方はお問合せください)

費用:無料

申込方法:下記連絡先までお電話で「子ども療育相談センター説明会希望」とお申込みください



作品の  
ご紹介

～S・Kさん(成人)～



**\*ティッシュケース\***

ブルーガンド一つひとつ丁寧に  
小さい花を飾りました



**\*バッグ\***

超極太の毛糸を使って  
コツコツ編みました



**お問合せ・お申込みは下記までご連絡ください**

電話受付時間 火曜～土曜 9:00～16:00

子ども療育相談センター直通 **03-3986-7060**



【発行元・連絡先】

公益財団法人 明治安田こころの健康財団 子ども療育相談センター  
〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10

発行日 2025年1月18日

わかたけ通信は  
ホームページにも  
掲載しています